

## 単元名 ゲーム「ゴール型ゲーム」 ～ラインサッカー～

### 1 運動の特性

#### (1) 一般的特性

○足でのドリブルやパスを使ってボールを運び、コンビネーションでシュートまでつなげていく攻守混在型の運動である。

#### (2) 児童から見た特性

○ルールや作戦を工夫して、集団対集団の攻防によって競争することを楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

### 2 単元目標

#### (1) 関心・意欲・態度

○運動に進んで取り組み、規則を守り仲よく運動したり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。

#### (2) 思考・判断

○ルールを選択したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができる。

#### (3) 運動の技能

○足を使ったパス・ドリブル・シュートなどの基本的なボール操作やボールを持たないときの動きによって、ラインサッカーのゲームを行うことができる。

### 3 評価規準

観点	ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 運動の技能
学具 習体 活の 動評 に価 お規 け準 る	①安全に注意しながら、練習やゲームに進んで取り組もうとする。 ②規則を守り、友達と励まし合って練習やゲームをしたり、ゲームの勝敗を受け入れたりしようとする。 ③用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとする。	①ラインサッカーの行い方を知り、楽しくゲームできる規則や練習方法などを選んでいく。 ②ラインサッカーの特長に合った攻め方を知り簡単な作戦を立ててゲームに生かしている。	①パスやドリブルでボールを運んだり、ねらった所にシュートすることができる。 ②ボールを持ったとき、ゴールに体を向けることができる。 ③ボール保持者と自分の間に守備者がいないよう移動することができる。

### 4 指導計画と評価

	1	2	3	4	5	6	7	8
5	①集合・整列・挨拶			②用具準備と運動の場づくり			③めあての確認	
20	<オリエンテーション> ○見通しを持つ ○試しのゲームを行いチーム作りをする	<ねらい1> ○やさしいルールのゲームでパスをつないで攻める		<ねらい2> ○ルールや作戦を工夫してゲームを行う			<まとめ> ○まとめとしてトーナメント戦を行う	
40	①学習のまとめ		②片づけ・整理運動			③集合・整列・挨拶		
評価	ア①	ウ②	ウ③	ウ①	ア③	イ①	イ②	ア②

### 5 指導の工夫

#### (1) 学習過程の工夫

○「ねらい1」では、ボール操作や動き方が身に付くゲームをそれぞれ「練習ゲーム1・2」として共通学習し、「ねらい2」では自分たちのチームの課題に応じて練習内容を選択できるようにする。

○「練習ゲーム1」では、主にボール操作の技能を「練習ゲーム2」では、主にボールを持たないときの動きの技能をそれぞれ高める運動を取り入れる。

#### (2) ルール・作戦の工夫

○「ねらい1」では、優しいルールのゲームを行い、動き方の習得をめざす。「ねらい2」では、チームの力に応じてコートやルールの形状やルールを選択させる。

○作戦の例を資料として提示し、その動き方については「ねらい1」で共通学習させ、「ねらい2」ではチームの力に応じて選択させたり工夫を加えさせたりする。

#### (3) 用具の工夫

○ボールはサッカーボール3号かドッジボール2号程度の大きさのやわらかめのボールを使用する。

3 年
No.98

- 1 単元名    ラインサッカー
- 2 目 標    学習の流れをつかむことができる。
- 3 展 開    (1/8)

時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	用具・資料
	学習の流れをつかむこと		
8分	1 ねらいを確認する。		
	ラインサッカー学習の進め方を知ろう		
	2 学習の流れをつかむ。	○模造紙に学習の流れを書いておき、説明していく。 ○練習ゲーム1の目的とやり方について図を使って説明する。 ・ボールタッチゲーム ・ドリブルゲーム ・パスゲーム ○練習ゲーム2の目的とやり方について図を使って説明する。 ・ハーフコートゲーム ・サークルゴールゲーム ・エンドゴールゲーム ○メインゲームであるラインサッカーの基本的なやり方を説明する。 ○チームやルールは試しのゲームを行ってから決定していくことを知らせる。 ○元になるチームはあらかじめ決めておく。 ○カードの記入の詳しい説明は次の時間に行う。	単元計画表 (掲示用模造紙)  説明図 (各ゲーム)
	<p>&lt; 1時間の流れ &gt;</p> <p>①練習ゲーム1をする。 ・3つのゲームを2分間ずつ行う。 ・ゲームの結果を記録用紙に記入して、伸びを確かめ合う。</p> <p>②練習ゲーム2をする。 ・チームの課題と今日の作戦と自分の役割を確認する。 ・課題に合ったゲームを選ぶ。 ・教え合いながら行う。</p> <p>③メインゲームをする。 ・4対4のラインサッカー ・ゲーム1(4分)ー作戦(2分)ーゲーム2(4分) ・対戦相手は学習の前に決めておく。</p> <p>④まとめをする。 ・チーム内での話し合いをもとに、学習カードに、今日の反省と次の課題を記入する。 ・今日活躍した人を紹介する。</p> <p>⑤片付けをする。 ・協力して行う。</p>		
10	3 練習ゲーム1をする。 ○3種類のゲームのやり方を理解する。 ・パスゲーム ・ドリブルゲーム ・シュートゲーム ○結果の記録の仕方を知る。	○3種類のボール操作技能に関する練習ゲームを説明する。 ・1回のゲームは1分間にする。 ・記録のさせ方を説明する。	ボール ゴール
10	4 練習ゲーム2をする。 ○サークルゴールゲーム(3分) ○ハーフグリッドセストボール(3分) ○サイドグリッドセストボール(3分)	○練習ゲーム2のやり方を説明しながら行わせる。	
10	5 メインゲーム(ラインサッカー)をする。 ○簡単なルールでやってみる。 ○1チーム4名。 ・ゲーム(3分)ー作戦(1分)ーゲーム(3分)で行う。	○簡単なルールでラインサッカーを行わせる。	
7	6 チームとルールについて話し合う。 ○今日のゲームの結果から、チームを変更するかしないかを話し合う。 ○ルールについて話し合う。	○みんなが楽しくゲームをするために、チームのメンバーとルールをどうするか話し合わせる。 ◇学習の流れを理解している。 ◇次時の授業に、意欲的に取り組もうとする。	

3 年
No.99

1 単元名 ラインサッカー

2 目標 ボール操作の技能を身に付け、簡単な動き方を習得する。

3 展開 (2/8)

時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	用具・資料
	ボールを持ったら、ゴールの方向に体を向けること		
5分	1 集合、整列、挨拶をする。	○素早い集団行動と元気な挨拶ができるようにする。服装や健康状態を観察により把握する。 ○役割ごと協力して行わせる。 ○準備が終わったチームには、パス練習などでウォーミングアップを行わせる。	単元計画表 (掲示用 模造紙)  説明図 (各ゲーム)
	2 用具と場の準備をする。 ○得点板 ○ゴール ○ボール ○ボールを入れておくための輪		
10	3 練習ゲーム1を行う。 ○ボールタッチゲーム(30秒) ①足裏タッチ(足の踏み替え) ②インサイドタッチ (足の内側でボールジャグリング) ③ボールリフティング (バウンド有り) ○ドリブルゲーム(1分間×2種) ①コピードリブル ②ボール蹴り出しゲーム ○パスゲーム(1分間×2種)2人組 ①ショートパス(インサイドキック) ②ロングパス(インステップキック, インフロントキック) ○結果を記録用紙に記入する。		
5	4 ねらいを確認する。	○ドリブル, パス, シュートの技能ポイントに関する助言をする。 ・ドリブル つま先・インサイド・アウトサイドなどでボールを軽く突き出す。 ・パス, シュート ボールの横に握り拳ひとつ分空けて立ち足を置く。  ○上手にできている児童を賞賛する。	得点板 ゴール ボール フラフープ
	やさしいルールของเกมでパスをつないで攻めよう		
10	○チーム毎に課題と作戦と練習ゲーム2について確認する。 5 練習ゲーム2を行う。 ○ハーフコートゲーム(2分×2×2回) ・4人対3人の攻めが1人多い条件でハーフコートのラインサッカーを行う。 作戦1: トライアングル作戦 課題1: ボールを持ったらゴール方向に体を向け、その人を頂点に三角形をつくる。	○学習する動き方(課題・作戦)について説明し練習ゲーム2の行い方を確認する。 ○身に付けさせたい動きを「作戦」として与え、本時の課題として意識付ける。 ○課題とする動き方を中心に、積極的に助言する。 ○上手にできている児童を賞賛し、良いところを広める。 ○ゲームの結果を代表者に記録用紙に記入させる。 ○サイドマンを効果的に使わせる。	学習カード
10	6 ラインサッカーをする。 ・ゲーム1(4分)ー作戦(2分)ーゲーム2(4分)	○ルールを確認する。 ・身体接触はファール ○良いプレーは賞賛し広める。 ◇ボールを保持したら、ゴールの方向に体を向けることができる。	
5	7 まとめをする。 ・チームの評価と自己評価を行う。 ・ルールなどの問題点を話し合う。	○学習カードに記入させる。 ○ルールやマナーなどの問題点を話し合いで解決させる。	
	8 片付けをし、整理運動をする。	○チームごとに協力して行わせる。	
	9 整列・挨拶をする。	○けが等の確認をする。	

3 年
No.100

- 1 単元名 ラインサッカー
- 2 目標 ボール操作の技能を身に付け、簡単な動き方を習得する。
- 3 展開 (3/8)

時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	用具・資料
	ボール保持者と自分との間に守備者がいないところに動くこと		
5分	1 集合、整列、挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○素早い集団行動と元気な挨拶ができるようにする。服装や健康状態を観察により把握する。</li> <li>○役割ごと協力して行わせる。</li> <li>○準備が終わったチームには、パス練習などでウォーミングアップを行わせる。</li> <li>○ドリブル、パス、シュートの技能ポイントに関する助言をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリブル つま先・インサイド・アウトサイドなどでボールを軽く突き出す。なるべく顔を上げる。</li> <li>・パス、シュート 立ち足のつま先を蹴る方向に向ける。 ボールの横に握り拳ひとつ分空けて立ち足を置く。</li> </ul> </li> <li>○上手にできている児童を賞賛する。</li> </ul>	単元計画表 (掲示用 模造紙)  説明図 (各ゲーム)  得点板 ゴール ボール フラフープ
	2 用具と場の準備をする。 ・得点板 ・ゴール ・ボール ・ボールを入れておくための輪		
10	3 練習ゲーム1を行う。 ・ボールタッチゲーム(30秒×3種) ①足裏タッチ(足の踏み替え) ②インサイドタッチ (足の内側でボールジャグリング) ③ボールリフティング (バウンド有りのリフティング) ・ドリブルゲーム(1分間×2種) ①コピードリブル ②ボール蹴り出しゲーム ・パスゲーム(1分間×2種)2人組 ①ショートパス ②ロングパス ○結果を記録用紙に記入する。		
5	4 ねらいを確認する。		
	やさしいルールของเกมでパスをつないで攻めよう		
	○チーム毎に課題と作戦と練習ゲーム2について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習する動き方(課題・作戦)について説明し練習ゲーム2の行い方を確認する。</li> <li>○身に付けさせたい動きを「作戦」として与え、本時の課題として意識付ける。</li> <li>○課題とする動き方を中心に、積極的に助言する。</li> <li>○上手にできている児童を賞賛し、良いところを広める。</li> <li>○ゲームの結果を代表者に記録用紙に記入させる。</li> <li>○サイドマンを効果的に使わせる。</li> <li>○ルールを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体接触はファール</li> </ul> </li> <li>○良いプレーは賞賛し広める。</li> <li>◇ボール保持者と自分の間に守備者を入れないように動くことができる。</li> <li>○学習カードに記入させる。</li> <li>○ルールやマナーなどの問題点を話し合いで解決させる。</li> <li>○チームごとに協力して行わせる。</li> <li>○けが等の確認をする。</li> </ul>	学習カード
10	5 練習ゲーム2を行う。 ○エンドゴールゲーム(4分×2) ・4人対4人でサイドマンを付けて行う。 ・ゴールエリア内にいる味方にパスが通れば得点。 ・一人自陣へもどれない。 作戦1: パスアンドゴー作戦 課題1: パスしたら、ボール保持者と自分との間に守備者がいないところにすばやく移動する。		
10	6 ラインサッカーをする。 ・ゲーム1(4分)ー作戦(2分)ー ゲーム2(4分)		
5	7 まとめをする。 ○チームの評価と自己評価を行う。 ○ルールなどの問題点を話し合う。		
	8 片付けをし、整理運動をする。		
	9 整列・挨拶をする。		

3 年
No.101

1 単元名 ラインサッカー

2 目標 ボール操作の技能を身に付け、簡単な動き方を習得する。

3 展開 (4/8)

時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	用具・資料
	コートを広く使ってパスやドリブルを使って攻め、ねらったところにシュートすること		
5分	1 集合、整列、挨拶をする。	○素早い集団行動と元気の挨拶ができるようにする。服装や健康状態を観察により把握する。 ○役割ごと協力して行わせる。 ○準備が終わったチームには、パス練習などでウォーミングアップを行わせる。 ○ドリブル、パス、シュートの技能ポイントに関する助言をする。 ・ドリブル つま先・インサイド・アウトサイドなどでボールを軽く突き出す。なるべく顔を上げる。 ・パス、シュート 立ち足のつま先を蹴る方向に向ける。 ボールの横に握り拳ひとつ分空けて立ち足を置く。  ○上手にできている児童を賞賛する。	単元計画表 (掲示用模造紙)  説明図 (各ゲーム)  得点板 ゴール ボール フラフープ
	2 用具と場の準備をする。 ○得点板 ○ゴール ○ボール ○ボールを入れておくための輪		
10	3 練習ゲーム1を行う。 ○ボールタッチゲーム(30秒×3種) ①足裏タッチ(足の踏み替え) ②インサイドタッチ (足の内側でボールジャグリング) ③ボールリフティング (バウンド有りのリフティング) ○ドリブルゲーム(1分間×2種) ①コピードリブル ②ボール蹴り出しゲーム ○パスゲーム(1分間×2種)2人組 ①ショートパス ②ロングパス ○結果を記録用紙に記入する。		
5	4 ねらいを確認する。		
	やさしいルールのゲームでパスをつないで攻めよう		
10	5 練習ゲーム2を行う。 ○ハーフグリッドゲーム(4分×2) ・4人対4人でサイドマンを付けて行う。 ・サイドマンはボールを持ったら自由に動くことができる。 ・1名自陣にもどれない。 作戦1: オープンスペース作戦 課題1: 空いているスペースを有効に使って攻める。	○学習する動き方(課題・作戦)について説明し練習ゲーム2の行い方を確認する。 ○身に付けさせたい動きを「作戦」として与え、本時の課題として意識付ける。 ○課題とする動き方を中心に、積極的に助言する。 ○上手にできている児童を賞賛し、良いところを広める。 ○ゲームの結果を代表者に記録用紙に記入させる。 ○空いているスペースやサイドマンを効果的に使わせる。 ○ルールを確認する。 ・身体接触はファール ○良いプレーは賞賛し広める。 ◇コートを広く使ってパスやドリブルを使って攻め、ねらったところにシュートすることができる。 ○学習カードに記入させる。 ○ルールやマナーなどの問題点を話し合いで解決させる。	
10	6 ラインサッカーをする。 ・ゲーム1(4分)ー作戦(2分)ーゲーム2(4分)		
5	7 まとめをする。 ○チームの評価と自己評価を行う。 ○ルールなどの問題点を話し合う。		学習カード
	8 片付けをし、整理運動をする。	○チームごとに協力して行わせる。	
	9 整列・挨拶をする。	○けが等の確認をする。	

3 年
No.102～104

1 単元名 ラインサッカー

2 目標 チームの特徴が生かせるように、ルールや作戦を工夫してゲームを行う。

3 展開 (5～7/8)

時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	用具・資料
	ラインサッカーの特徴に合った攻め方や自分のチームの力や課題に合った作戦・規則・練習方法を選ぶこと		
5分	1 集合、整列、挨拶をする。	○チームごとに素早く集合し、元気な挨拶ができるようにする。服装や健康状態を観察により把握する。 ○役割ごと協力して行わせる。 ○準備が終わったら、練習ゲーム1が始まるまでチームでウォーミングアップを行わせる。 ○ドリブル、パス、シュートの技能ポイントに関する助言をする。 ・ドリブル ターンするとき足の内側や外側を使う。 ・パス、シュート(ロングパス) 短い距離ではインサイドキックを使う。 遠い距離ではインステップキックやインフロントキックを使う。	単元計画表 (掲示用模造紙) 説明図 (各ゲーム) 得点板 ゴール ボール フラフープ
	2 用具と場の準備をする。 ○得点板 ○ゴール ○ボール ○ボールを入れておくための輪		
10	3 練習ゲーム1を行う。(1分間ずつ) ○ボールタッチゲーム ①足裏タッチ(ボールの横に立って) ②インサイドタッチ (足の内側でボールジャグリング) ③ボールリフティング (バウンド1回までで連続回数) ○シャトルドリブルリレー コート横を往復して次の人にタッチ。 ○パスリレー ①短い距離で対面パスリレー ②長い距離で対面パスリレー *代表者が結果を記録用紙に記入する。		
5	4 ねらいを確認する。		
	ルールや作戦を工夫してゲームを行う		
10	○チーム毎に課題と作戦と練習ゲーム2について確認する。	○自分たちがまだできていない動き方の課題(作戦)を確認させ、その課題に合ったルールとコートを選ばせる。 ○チームの課題や動き方について積極的に助言する。 ○上手にできている児童を賞賛し、良いところを広める。 ○ゲームの結果を代表者に記録用紙に記入させる。 ○選んだルールについて確認させる。 ○チームで作戦の確認をさせる。ゲーム開始まで時間がある場合は、チームで練習させる。 ◇ラインサッカーの特徴に合った攻め方や、自分のチームの力や課題に合った作戦・規則・練習方法を選んでいる。	
	5 練習ゲーム2を行う。 ○練習ゲーム(4分×2) ・ルールとコートの形状は、2～4時間で行ったものから、自分たちのチームの課題に合ったものを選ぶ。		
10	6 ラインサッカーをする。 ○作戦と動き方の確認。 ・ゲーム1(4分)ー作戦(2分)ーゲーム2(4分)		
5	7 まとめをする。 ○チームの評価と自己評価を行う。 ○ルールなどの問題点を話し合う。	○学習カードに記入させる。 ○ルールやマナーなどの問題点を話し合いで解決させる。	学習カード
	8 片付けをし、整理運動をする。	◇チームごとに協力して行おうとする。	
	9 整列・挨拶をする。	○けが等の確認をする。	

3 年
No.105

- 1 単元名 ラインサッカー
- 2 目標 学習したことを生かしてまとめのゲームをする。
- 3 展開 (8/8)

時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	用具・資料
	学習したことを生かして、まとめのトーナメント大会をすること		
5分	1 集合、整列、挨拶をする。	○チームごとに素早く集合し、元気な挨拶ができるようにする。服装や健康状態を観察により把握する。 ○役割ごと協力して行わせる。 ○準備が終わったら、練習ゲーム1が始まるまでチームでウォーミングアップを行わせる。 ○ドリブル、パス、シュートの技能ポイントに関する助言をする。 ・ドリブル ターンするとき足の内側や外側を使う。 ・パス、シュート(ロングパス) 遠い距離ではインステップキックやインフロントキックを使う。	単元計画表 (掲示用 模造紙) 説明図 (各ゲーム) 得点板 ゴール ボール フラフープ
	2 用具と場の準備をする。 ・得点板 ・ゴール ・ボール ・ボールを入れておくための輪		
10	3 練習ゲーム1を行う。(1分間ずつ) ○ボールタッチゲーム ①足裏タッチ(ボールの横に立って) ②インサイドタッチ (足の内側でボールジャグリング) ③ボールリフティング (バウンド1回までで連続回数) ○シャトルドリブルリレー コート横を往復して次の人にタッチ。 ○パスリレー ①短い距離で対面パスリレー ②長い距離で対面パスリレー *代表者が結果を記録用紙に記入する。		
5	4 ねらいを確認する。		
	まとめのトーナメント戦をしよう		
	○ルールを確認し、作戦を話し合う。	○全体でルールを確認させる。 ・身体接触について。 ・ドリブルの使用。 ・保持しているボールへの対応。 ○チームごとに作戦を確認させる。 ○チームの作戦や動き方について積極的に助言する。 ○上手にできている児童を賞賛する。 ○ゲームの結果を代表者に記録用紙に記入させる。 ○ハーフタイムに、チームで作戦の確認や修正をさせる。ゲーム開始まで時間がある場合は、チームで練習させる。 ◇ボールをもらったらゴールに体を向けたり、ボールがもらえるところに動いたりすることができる。 ◇規則を守り、友達と励まし合ってゲームをしたり、勝敗を受け入れたりしようとしている。 ○学習カードに記入させる。 ○個人やチームの良かった点を発表させることにより、まとめとする。 ○チームごとに協力して行わせる。 ○けが等の確認をする。	
10	5 トーナメント第1試合を行う。 ・ゲーム1(4分)ー作戦(2分)ーゲーム2(4分) ○ハーフタイムで、作戦の修正点を話し合う。		
10	6 トーナメント第2試合を行う。 ・ゲーム1(4分)ー作戦(2分)ーゲーム2(4分) ○ハーフタイムで、作戦の修正点を話し合う。		
5	7 まとめをする。 ○チームの評価と自己評価を行う。 ○表彰式をして、チームや友だちの良かった点を発表し合う。		学習カード
	8 片付けをし、整理運動をする。 9 整列・挨拶をする。		

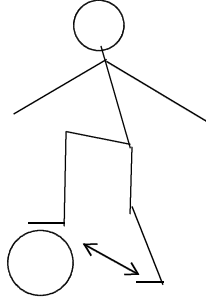
## 6 補助資料

【練習ゲーム1】主に、ボール操作の技能を高める運動。(毎時間、回数や得点を記録する)

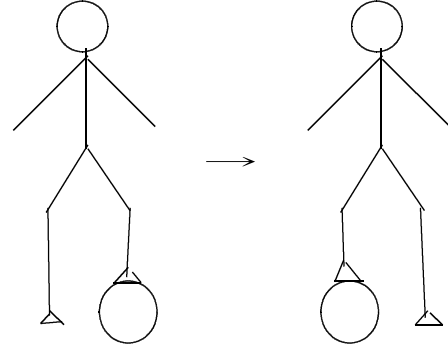
・ボールタッチ=ボールに慣れる運動。回数を増やすことに挑戦する。

### ①足裏タッチ

「ねらい1」ではボールの後ろに立って  
左右の足を踏み換える。

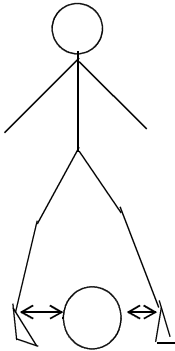


「ねらい2」ではボールの横に立って  
左右の足を踏み換える。



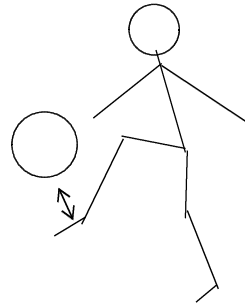
### ②インサイドタッチ

左右交互に足の内側でボールを動かす。



### ③ボールリフティング

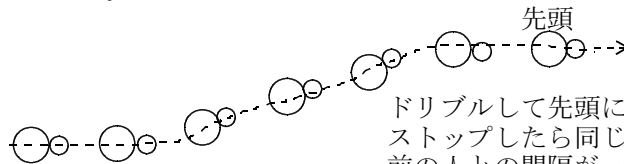
足・腿などを使いボールを連続して空中でつく。  
「ねらい1」では、何回バウンドさせてもよい。  
「ねらい2」では、バウンドは1回までとする。  
※バウンドの回数は児童の実態に応じて決める。



・ドリブルゲーム

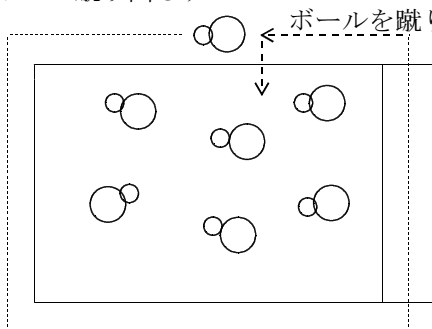
「ねらい1」

①コピードリブル チームごとに並び、先頭の人ドリブルで進む後ろについて、一列でドリブルして  
ついていく。



ドリブルして先頭についていく。  
ストップしたら同じように止まる。  
前の人との間隔が一定になるようにする。  
先頭は毎回かえる。

### ②ボール蹴り出しゲーム



ボールを蹴り出された人はコートを一週してから入る。

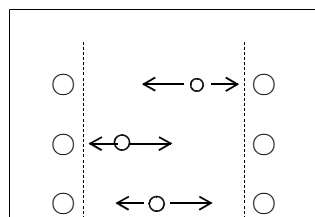
ハーフコート内を自由にドリブルし、  
友だちのスキを見て、友だちがドリブルしているボールを  
コートの外に蹴り出す。

蹴り出された人は、ボールが出た所からコートの外をドリ  
ブルで一週して、再びゲームに加わる。  
蹴り出した回数を記録する。(または、蹴り出された回数)



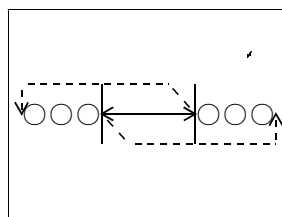
・パスゲーム

ねらい1では、二人組の「対面パスゲーム」      ねらい2では、チームでの「対面パスゲーム」



二人組でパスし合う。

ア. ショートパスで  
イ. ロングパスで

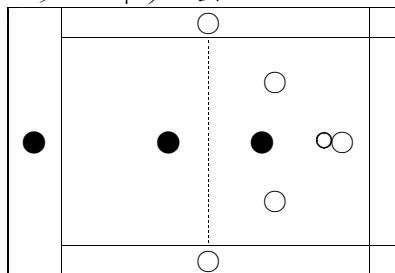


正面の相手にパスをする。  
パスをしたら、パスをした方へ動く。

ア. ショートパスで  
イ. ロングパスで

【練習ゲーム2】

①ハーフコートゲーム



ゴールラインを越えれば得点。  
点線のシュートラインを越えなければシュートは打てない。

<攻撃側>フィールドプレイヤー3人

サイドマン2人

<守備側>フィールドプレイヤー2人

ゴールキーパー1人

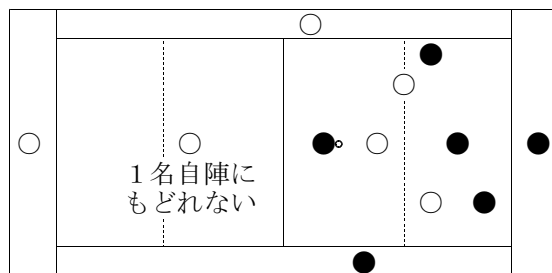
攻撃側の人数を増やし、攻守交代型にすることで、攻撃に関する動き方を重点的に学習できる。

プレイヤーやキーパーの人数は実態に応じて変える。

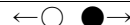
②エンドゴールゲーム

= 1名自陣にもどれない。ゴールゾーンにいる味方にパスが通れば得点。

攻撃側を1名増やし、シュートの代わりにゴールマンにパスが通れば得点にすることで、ボール保持者と自分との間に守備者を入れないように動くことが学習しやすくなる。



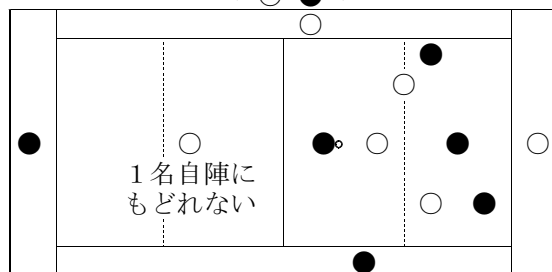
1名自陣にもどれない



③ハーフグリッドゲーム

= 1名自陣にもどれない。ゴールラインを越えれば得点。

攻撃側を1名増やすことで、攻撃側が有利になり、ボールをもらうスペースが生まれる。  
また、サイドマンを効果的に使うことで、サイドからの攻撃が生まれる。



1名自陣にもどれない

【ラインサッカー】

①コート=縦40m×横20m

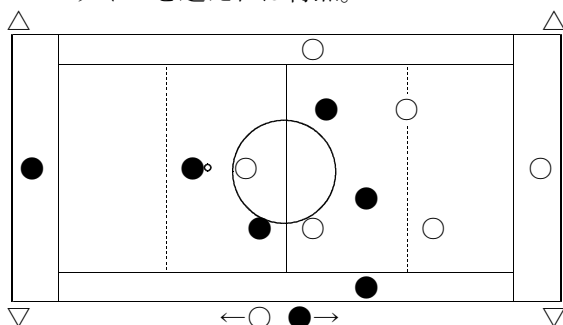
ゴールエリア=1.5m幅      サイドエリア=1m幅

シュートゾーン=ハーフコートの中央

②3~4人対3~4人, 前半4分-話し合い2分-後半4分

③ボール=サッカーボール3号。(柔らかめのボール)

④ゴールラインを超えれば得点。



<選択ルール例>

- ・ゴールの幅 (コーンなどで区切る)
  - ・サイドマンの手の使用
  - ・ゴールキーパーの人数
  - ・シュートエリア (シュート可能な範囲)
  - ・ボーナス得点
  - ・ドリブルの有無
  - ・保持しているボールへの対応 (保持しているボールには触れない等)
  - ・身体接触が許される程度
  - ・今までの学習で行った練習ゲーム2のルール
- これらのルールは、児童の実態に応じて「練習ゲーム2」においても取り入れることが考えられる。

【課題・作戦・課題ゲームの関係】

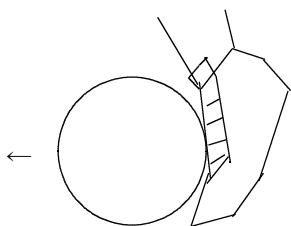
※ここに示したものは一例なので、児童の実態に合わせて変更を加えていく。

[課題例]	[作戦例]	[ゲーム・ルール例]
①ボールを持ったらゴールの方に向く。	①トライアングル作戦 (三角形を作りパスを回す)	①ハーフコートゲーム
③ボール保持者と自分の間に守備者がいないように動く。	③パスアンドゴー作戦 (パスをしたらずぐ動く)	②エンドゴールゲーム
②ボールがもらえる空間に動く。	②オープンスペース作戦 (コートを広く使って攻める)	③ハーフグリッドゲーム
④自分たちで考えた課題	④自分たちで考えた作戦 (既習の作戦やそれを組み合わせた作戦等)	④ラインサッカー

[キック]

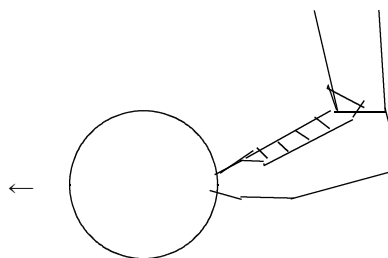
- ボールに当てる足の部分でボールの勢いや軌道が変わる  
「立ち足」はどの蹴り方でも、つま先を蹴る方向に向ける。

<インステップキック>



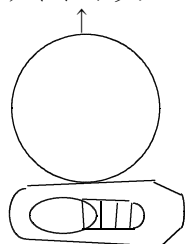
足首を伸ばし、ボールの中心を足の甲で蹴る。  
勢いのあるゴロやライナーになる。

<トーキック>



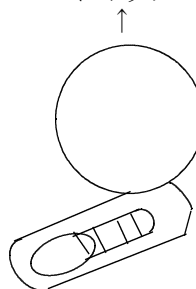
足首を曲げ、ボールの中心をつま先で蹴る。  
やや勢いのあるゴロやライナーになる。  
強く蹴るとつま先を痛めるときがあるので注意が必要。

<インサイドキック>



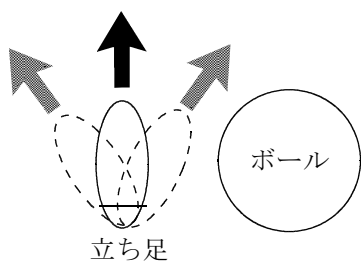
蹴り足のつま先を上げ、足の内側(くるぶしの下あたり)で蹴る。  
ねらったところに正確に蹴ることができる。

<インフロントキック>

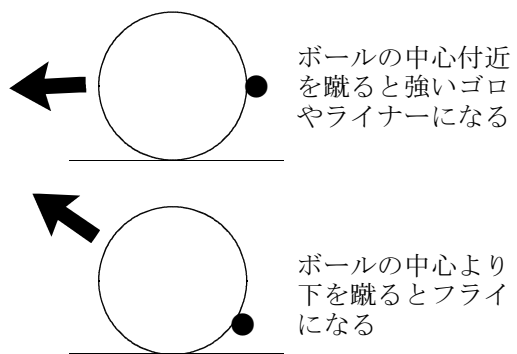


足の親指の付け根あたりで、ボールの下を蹴る。  
フライやカーブのかかったボールを蹴ることができる。

○蹴りたい方向に立ち足のつま先を向ける



○蹴るボールの位置で跳び方が変わる



7 学習カード

ラインサッカー学習カード 年 組 ( )

日付	対戦相手	今日のめあて・作戦

練習ゲーム 1								
	点	点	点	点	点	点	点	点
	点	点	点	点	点	点	点	点
	点	点	点	点	点	点	点	点

練習ゲーム 2								
	点	点	点	点	点	点	点	点

メインゲーム								
点数	対	対	対	対	対	対	対	対
勝敗								

学習のふりかえり								
うれしかったことや感動したことがありましたか。								
いままでできなかったことができるようになりましたか。								
わかったことや気づいたことがありましたか。								
せいっぱいぜんりよくで運動しましたか。								
たのしかったですか。								
自分からすすんで学習することができましたか。								
何回も練習しましたか。								
友だちときょう力して、なかよく学習できましたか。								
友だちに教えたり、友だちを助けたりしましたか。								

「はい」 = ◎ 「どちらでもない」 = ○ 「いいえ」 = △